

2/23~
3/9

早春の風物詩

梅まつり



ひと足早い春の訪れに およそ1万人

訪れる人の目を楽しませる早春の風物詩「梅まつり」が、2月23日から3月9日の16日間、坂田城跡の梅林を会場に開催されました。咲き始める時期に冷え込んだせいも少し遅めの開花の中、可憐な梅の香りに誘われて県内外から大勢の花見客が訪れました。期間中は、梅林組合をはじめ商工会、農業振興会などが出店し地元の「食」をアピールしたほか、土日には菜雑煮のサーブや野点、太巻き寿し体験などが行われまつりに彩りを添えています。



観梅遠足：フタバ保育園の園児約75名が参加。好天の中、おやつをパクリ

のだて野点：梅まつり期間中、2回開かれ約350人に抹茶と和菓子が振舞われました

梅林組合売店：梅加工品と地元特産品を販売。なかでも梅まんじゅうは大人気



横芝光町の梅林は県下最大



花を咲かせた古木

坂田城跡の梅林

坂田城跡は15世紀中ごろ千葉氏により、築かれたと伝えられている城郭で、台地上の山林内には曲輪・土塁・空堀などが多く残っています。地元では「しろやま」と呼ばれ親しまれている場所でもあり、この中に坂田城跡梅林組合員のみなさんが栽培する県下最大級の梅林団地が広がっています。梅林は白加賀という品種を中心に約1,500本が栽培され、梅の木は樹齢40年を超え枝張り10メートル以上のものも多く、梅花が一斉に咲いた景観は多くの人を魅了します。